

第563回  
IBC番組審議会 議事録

—議題—

学びEye!

三陸“復幸（ふっこう）”～被災地の食に学ぶ6か月～

平成23年9月22日  
㈱ I B C 岩手放送

## 第563回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成23年9月22日（木）午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- |         |             |
|---------|-------------|
| 委員総数    | 10名         |
| 出席委員    | 8名          |
| 出席委員の氏名 |             |
| 委員長     | 田代 高章       |
| 委員      | 大村友貴美 小笠原 裕 |
|         | 加藤 正幸 工藤 和彦 |
|         | 澤口たまみ 杉本 博  |
|         | 矢佐 俊幸       |
| 欠席委員の氏名 | 熊谷志衣子 小松 務  |
- 会社側出席
- |       |          |
|-------|----------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長  |
| 川上 隆  | 常務取締役    |
| 熊谷 鉄郎 | 取締役放送本部長 |
| 成島 信夫 | 編成局長     |
| 関 芳樹  | 編成局次長    |
- 事務局
- |       |           |
|-------|-----------|
| 相原 優一 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 事務局       |
4. 審議番組 学び Eye  
『三陸“復幸”（ふっこう）～被災地の食に学ぶ6か月～』

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- 映像が非常にきれいで、いつもと変わらない海という印象を受けたし、漁師さんの笑顔が素晴らしかった。早朝から暗い気持ちにならないような番組だったのではないかな。
- この番組が狙いとしたのは何か、伝えたかったのは何か。三陸の命をつないできた食というテーマと、中身が一致しているか疑問に思った。ばらばらの要素と話題を集めただけではないのか、という印象が残ったのは事実です。
- 復興にはまだまだ時間がかかって、本当に復興するためには様々な支援が必要だというメッセージを継続していく必要があると、番組を見ながら感じた。
- 中身が多かったので1回見ただけで全てを理解することは難しかった。たくさん食材があるとか、気がついていないことを認識する程度であれば良かったのかも知れないが、いろいろなメッセージが入っていたので、何回か見ないとわからなかった。
- ナレーターに紺野美沙子を起用し、しかも陸前高田の親戚を訪ねるということで番組にも登場させるなど、制作には力を入れた震災復興番組だと感じた。
- 陸前高田から始まって、大槌、宮古、釜石、久慈、田野畑と少し駆け足での紹介で、総花的になってしまった。三陸の特徴である海の幸に絞って、もっと詳しく紹介した方が良かった。
- 被災地の<食>に学ぶ6か月というサブタイトルがついているが、1回見ただけでは何を伝えたいのか、メッセージが理解しにくかった。2回、3回見てやっと理解することができた。
- 取り上げられたテーマが避難所のおにぎり、ジョッキパフェ、花見酒、タコ料理、海の養殖など多いため、ややまとまりのない番組になってしまったのではないかな。やはり三陸海岸の特徴である海の幸に関連したテーマに絞って、それぞれ詳しく紹介するべきだったのではないかな。